The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	本研究会の活動（2009年10月～2010年3月）
Author(s)	
Citation	詞林. 2010, 47, p. 52-52
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/67614
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

本研究会の活動（2009年10月～2010年3月）

第214回10月31日（土）

『古今集』における「事」
―仮名序「ことの心」を視座に―　坂本　正博

入内屏風和歌享受の位相
―中世勅撰集において―　細川知佐子

第215回11月7日（土）

『太平記鈔』『徒然草寿命院抄』と『謡抄』
―謡曲註釈の利用と中世最末期の学問の一隅をめぐって―　野上　潤一

第216回12月12日（土）

『とはずがたり』の後深草院
―巻四「人目にも、「こはいかに」などおぼゆる御もてなしもなく」の解釈をめぐって―　高嶋　藍

『源氏物語』における「岩根の松」について
―賀歌の変容―　白　雨田

第217回1月30日（土）

『讃岐典侍日記』下巻考
―香隆寺参詣記事を手がかりとして―　丹下　暖子

『伊勢物語愚見抄』が捉える〈昔物語の本意〉　木下　美佳

第218回2月20日（土）

内部徴証による『太平記鈔』日性編者説の再検討
―『太平記鈔』生成の一端と法華宗僧の学問の一隅をめぐって―　野上　潤一

第219回3月13日（土）

与謝野晶子の短歌に投影した『源氏物語』
―「薪こり菜摘み水汲み…」の歌の場合―　宮本　正章

『南朝公卿補任』の史料性　勢田　道生